



2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月13日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8079 URL https://www.shoeifoods.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)加納 一徳 (TEL)03(3253)1529
 四半期報告書提出予定日 2020年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の連結業績(2019年11月1日~2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年10月期第1四半期 | 28,834 | △0.5 | 1,538 | 20.0 | 1,599 | 23.6 | 1,186 | 31.8 |
| 2019年10月期第1四半期 | 28,992 | △2.2 | 1,281 | △18.7 | 1,293 | △22.9 | 899 | △28.4 |

(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期 1,364百万円(124.6%) 2019年10月期第1四半期 607百万円(△52.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年10月期第1四半期 | 70.13 | — |
| 2019年10月期第1四半期 | 53.08 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年10月期第1四半期 | 78,155 | 40,387 | 50.6 |
| 2019年10月期 | 75,626 | 39,931 | 51.7 |

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 39,623百万円 2019年10月期 39,169百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年10月期 | — | 23.00 | — | 23.00 | 46.00 |
| 2020年10月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年10月期(予想) | — | 24.00 | — | 24.00 | 48.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日~2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 58,500 | 1.7 | 2,850 | 9.9 | 2,800 | 9.0 | 1,850 | 5.0 | 109.14 |
| 通期 | 108,000 | 2.0 | 4,400 | 7.6 | 4,300 | 6.9 | 2,850 | 7.4 | 168.14 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2020年10月期1Q | 17,100,000株 | 2019年10月期 | 17,100,000株 |
| 2020年10月期1Q | 280,804株 | 2019年10月期 | 150,704株 |
| 2020年10月期1Q | 16,916,760株 | 2019年10月期1Q | 16,949,485株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

| | 前連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日) | 当連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日) | 増減率 |
|------------------|---|---|-------|
| 売上高 | 28,992 | 28,834 | △0.5% |
| 営業利益 | 1,281 | 1,538 | 20.0% |
| 経常利益 | 1,293 | 1,599 | 23.6% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 899 | 1,186 | 31.8% |

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自然災害や暖冬、また、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や米中貿易摩擦に伴う通商問題など、先行き不透明な状況に推移いたしました。

食品業界においては、消費者の節約志向は依然として根強く、加えて、機能性をアピールした商品や個食化、時短・簡便化ニーズなど、多様化するニーズに即した商品が求められる中、企業間競争はますます厳しい状況下にあります。

このような状況にあって当社グループは、多様な用途に応じた食品原材料の提供に努めてまいりましたが、ここ2ヶ年で約90億円（日本国内）の設備投資を計画し、商事・卸売機能を擁した製菓原材料等に特化した生産機能の充実に努めてまいりました。

これらの結果、売上面については、業務用乳製品が堅調に推移し、菓子・リテール商品も伸長しましたが、主力事業である乾果実・ナッツ類が国内外での販売が低調に推移したことから当連結会計年度の連結売上高は、前年同期比0.5%減の288億34百万円となりました。

利益面につきましては、国内の生産部門は人件費や製造コストの上昇もあり、生産子会社の収益は微増に留まりましたが、販売面においては物流経費等の増加抑制と、海外食材の輸入コストが改善したことから、営業利益は前年同期比20.0%増の15億38百万円となり、経常利益は23.6%増の15億99百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比31.8%増の11億86百万円となりました。

当第1四半期の品目別の業績は次の通りであります。

(単位：百万円)

| | 前連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日) | | 当連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日) | | 前期比 | |
|------------|---|--------|---|--------|------|-------|
| | 売上高 | 構成比 | 売上高 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 乳製品・油脂類 | 8,931 | 30.8% | 8,947 | 31.0% | 16 | 0.1% |
| 製菓原材料類 | 4,418 | 15.2% | 4,328 | 15.0% | △89 | △2.0% |
| 乾果実・缶詰類 | 10,765 | 37.1% | 10,420 | 36.2% | △345 | △3.2% |
| 菓子・リテール商品類 | 4,802 | 16.6% | 5,053 | 17.5% | 250 | 5.2% |
| その他 | 73 | 0.3% | 83 | 0.3% | 9 | 13.3% |
| 合計 | 28,992 | 100.0% | 28,834 | 100.0% | △158 | △0.5% |

所在地別セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2 |
|----------------|---------|-------|-------|--------|--------------|----------------------------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | 計 | | |
| 売上高 | 24,407 | 3,099 | 2,630 | 30,137 | △1,303 | 28,834 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,244 | 418 | △34 | 1,628 | △89 | 1,538 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△89百万円には、セグメント間消去9百万円、全社費用△98百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「(会計方針の変更)」に記載のとおり当第1四半期連結会計期間より「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を適用しております。この結果、従来の方法によった場合と比べて、米国の売上高は、1,830百万円減少しております。なお、セグメント利益又は損失(△)に与える影響はありません。

① 日本

当地域の売上高は、業務用乳製品が堅調に推移し、CVSやドラッグストアでの菓子・リテール商品が伸長しましたが、暖冬の影響や消費増税による生産・消費動向に陰りも見られたことから、前年同期比0.3%減の244億7百万円となりました。

セグメント利益は、2018年産のナッツ類や乾燥フルーツ等の在庫が一巡し、輸入食材の採算が改善したことから前年同期比18.2%増の12億44百万円となりました。

② 米国

当地域の売上高は、乾燥フルーツ等の輸出事業は総じて堅調に推移しましたが、主力のクルミ事業は2019年産の原料クルミの入荷およびその加工品の販売時期が昨年と比べて遅延傾向にあったことから減収となりました。この結果「会計方針の変更」に記載の「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)の適用による当地域の売上高は、前年同期比40.0%減の30億99百万円となりました。

セグメント利益は、クルミ事業における採算が改善したことに加え、農園事業における管理費用の低減等から前年同期比24.9%増の4億18百万円となりました。

③ 中国

当地域の売上高は、フルーツ加工やシード類の選別・加工事業が堅調に推移し、日本向けの輸出品も伸長するなど、生産子会社2社の売上高は前年を上回りました。販売子会社については、米中貿易摩擦の影響もあり、乾燥フルーツ等が販売減となりましたが当地域の売上高は、前年同期比6.3%増の26億30百万円となりました。

セグメント利益は、中国産原材料の価格上昇や輸入関税の上昇等から、総じて採算が悪化したことから34百万円のセグメント損失(前年同期は33百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ25億29百万円増加し、781億55百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「現金及び預金」が16億3百万円減少したものの、「受取手形及び売掛金」が20億66百万円、「仕掛品」が7億66百万円、「原材料及び貯蔵品」が13億9百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ25億67百万円増加し、517億70百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が1億13百万円、無形固定資産が45百万円それぞれ増加したものの、投資その他の資産が1億97百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、263億85百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億74百万円増加し、377億68百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「未払法人税等」が2億84百万円、「賞与引当金」が4億45百万円それぞれ減少したものの、「支払手形及び買掛金」が16億92百万円、「短期借入金」が14億74百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が9億22百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ30億89百万円増加し、289億2百万円となりました。固定負債は、「長期借入金」が10億17百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ10億14百万円減少し、88億66百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億55百万円増加し、403億87百万円となりました。その主な要因は、「利益剰余金」が7億96百万円、「為替換算調整勘定」が2億24百万円、「自己株式」が5億19百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の連結業績予想は、2019年12月13日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年10月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,061,730 | 9,457,901 |
| 受取手形及び売掛金 | 19,029,446 | 21,096,328 |
| 商品及び製品 | 15,284,140 | 15,353,969 |
| 仕掛品 | 565,776 | 1,332,698 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,013,169 | 3,323,007 |
| 前渡金 | 416,098 | 411,643 |
| その他 | 838,437 | 799,683 |
| 貸倒引当金 | △5,922 | △4,475 |
| 流動資産合計 | 49,202,878 | 51,770,757 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,677,443 | 8,670,531 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,068,146 | 5,031,694 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 227,370 | 232,568 |
| 土地 | 3,552,329 | 3,556,648 |
| リース資産(純額) | 155,877 | 145,245 |
| 建設仮勘定 | 2,997,291 | 3,154,660 |
| その他(純額) | 199,666 | 200,379 |
| 有形固定資産合計 | 20,878,125 | 20,991,729 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 85,595 | 128,236 |
| その他 | 124,974 | 128,188 |
| 無形固定資産合計 | 210,570 | 256,425 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,681,763 | 3,630,533 |
| 保険掛金 | 88,566 | 59,777 |
| 繰延税金資産 | 210,762 | 160,064 |
| 長期前払金 | 1,123,351 | 1,059,453 |
| その他 | 318,215 | 315,431 |
| 貸倒引当金 | △88,228 | △88,273 |
| 投資その他の資産合計 | 5,334,431 | 5,136,987 |
| 固定資産合計 | 26,423,126 | 26,385,142 |
| 資産合計 | 75,626,005 | 78,155,899 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年10月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,449,911 | 12,142,439 |
| 短期借入金 | 10,601,146 | 12,075,523 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 260,730 | 1,183,017 |
| 未払金 | 1,541,792 | 1,525,323 |
| 未払法人税等 | 670,328 | 385,958 |
| 賞与引当金 | 828,106 | 382,874 |
| 役員賞与引当金 | 13,551 | 15,325 |
| その他 | 1,447,149 | 1,191,712 |
| 流動負債合計 | 25,812,715 | 28,902,174 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,296,104 | 7,278,490 |
| 繰延税金負債 | 303,099 | 298,086 |
| 退職給付に係る負債 | 729,498 | 739,553 |
| 役員退職慰労引当金 | 326,644 | 79,210 |
| その他 | 226,109 | 471,306 |
| 固定負債合計 | 9,881,456 | 8,866,646 |
| 負債合計 | 35,694,171 | 37,768,821 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,379,736 | 3,379,736 |
| 資本剰余金 | 3,046,538 | 3,046,538 |
| 利益剰余金 | 31,375,068 | 32,171,713 |
| 自己株式 | △451,029 | △970,751 |
| 株主資本合計 | 37,350,314 | 37,627,236 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,667,948 | 1,629,089 |
| 繰延ヘッジ損益 | 14,656 | 4,833 |
| 為替換算調整勘定 | 168,594 | 393,238 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △32,256 | △30,424 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,818,942 | 1,996,737 |
| 非支配株主持分 | 762,576 | 763,103 |
| 純資産合計 | 39,931,833 | 40,387,077 |
| 負債純資産合計 | 75,626,005 | 78,155,899 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 28,992,510 | 28,834,478 |
| 売上原価 | 24,789,435 | 24,203,291 |
| 売上総利益 | 4,203,075 | 4,631,186 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,921,699 | 3,092,526 |
| 営業利益 | 1,281,376 | 1,538,660 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 772 | 646 |
| 受取配当金 | 25,450 | 28,366 |
| 為替差益 | 1,847 | 26,351 |
| 持分法による投資利益 | 8,603 | 7,592 |
| 受取保険金 | 1,520 | 10,410 |
| その他 | 32,151 | 31,864 |
| 営業外収益合計 | 70,344 | 105,231 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 46,610 | 41,808 |
| その他 | 11,618 | 2,546 |
| 営業外費用合計 | 58,228 | 44,355 |
| 経常利益 | 1,293,492 | 1,599,536 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,480 | - |
| 特別利益合計 | 4,480 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 3,286 | 57 |
| 固定資産除却損 | 3,036 | 16,185 |
| 特別損失合計 | 6,323 | 16,243 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,291,649 | 1,583,292 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 235,924 | 335,213 |
| 法人税等調整額 | 155,885 | 62,916 |
| 法人税等合計 | 391,809 | 398,130 |
| 四半期純利益 | 899,839 | 1,185,162 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 143 | △1,310 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 899,696 | 1,186,472 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 899,839 | 1,185,162 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 404 | △37,231 |
| 繰延ヘッジ損益 | △85,060 | △9,822 |
| 為替換算調整勘定 | △208,984 | 224,644 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,094 | 1,831 |
| その他の包括利益合計 | △292,545 | 179,422 |
| 四半期包括利益 | 607,294 | 1,364,584 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 611,953 | 1,364,267 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △4,658 | 317 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を当第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、セグメント情報を除き、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、セグメント情報に与える影響については、(セグメント情報等)に記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年11月1日至2019年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注)2 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,383,656 | 2,881,356 | 1,727,497 | 28,992,510 | — | 28,992,510 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 103,643 | 2,287,316 | 745,541 | 3,136,501 | △3,136,501 | — |
| 計 | 24,487,300 | 5,168,672 | 2,473,039 | 32,129,012 | △3,136,501 | 28,992,510 |
| セグメント利益 | 1,052,384 | 334,749 | 33,735 | 1,420,870 | △139,493 | 1,281,376 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△139,493千円には、セグメント間消去△34,231千円、全社費用△105,262千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年11月1日至2020年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注)2 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,369,387 | 2,739,781 | 1,725,309 | 28,834,478 | — | 28,834,478 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 38,289 | 360,045 | 904,691 | 1,303,026 | △1,303,026 | — |
| 計 | 24,407,677 | 3,099,826 | 2,630,000 | 30,137,505 | △1,303,026 | 28,834,478 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,244,758 | 418,269 | △34,821 | 1,628,206 | △89,546 | 1,538,660 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△89,546千円には、セグメント間消去9,316千円、全社費用△98,862千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「(会計方針の変更)」に記載のとおり当第1四半期連結会計期間より「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を適用しております。この結果、従来の方法によった場合と比べて、米国のセグメント間の内部売上高又は振替高は、1,830,001千円減少しております。なお、セグメント利益又は損失(△)に与える影響はありません。